

はねっと 6

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

枠組みをこえて楽しめる 場所をつくりたい!

ゴラゾ Golazo!
代表 相澤直さん(48)

障がいのある子を含む3人の父親である相澤直さんは、多様な子どもが共に楽しめるイベント「インクルーシブスポーツキャラバン」の発起人です。「多くの人に障がい児と自然に関わってもらえたら」という思いから、学生ボランティアやベガルタ仙台のコーチ、チアリーダーズなど様々な人の力をつなぎ開催しています。障がいの有無で隔てられることなく交流できる場から目指すのは、どんな人でも仲間外れにされない社会です。一方、障がい児親子が「周りに迷惑をかけるかも」と、障がい者コミュニティに閉じこもりがちになることを感じてきた相澤さん。伝えたいのは、一部の世界には見えない発見や、楽しさです。「親が楽しんでいないと子どもだって楽しめない。僕は自分が楽しみたいからやっただけなんですけど」と笑う相澤さんの周囲には自然と人が集まります。

インクルーシブスポーツキャラバンは、2019年4月に相澤さんを含む特別支援学校のPTAメンバーが企画した、親子でのサッカー観戦がはじまりです。4年ほど前までPTAなどの活動に一切参加したことがなかった相澤さん。当初、自分以外



▲ 追力満点のスタジアムで観戦を楽しんだ時の様子

外全員女性だったPTAの環境に遠慮していましたが、楽しいこと好きな性格から学校の行事などに進んで参加し、気づけば会長を任されるまでに。「相澤さんが

いるなら」と参加する父親も増えていきました。新しい風が吹き込まれたことで企画に至ったのが、ベガルタ仙台の試合観戦です。しかし、一部の母親からあがったのは「障がいだらけにしてられないうちの子は、どうせ楽しめない」とためらう声でした。相澤さんは言葉の背景に、父親の育児参画や周囲のサポートを得られないまま、一人で障がい児を支え続けてきた母親の苦労をあらためて実感。「親も子ども笑顔にしたい」と思うようになりました。当日、子どもたちはルールがわからなくても、ゴールが決まれば大喜び。みんなで一緒に楽しめた経験が現在の活動の糸口になりました。底抜けの明るさでつなぐのは、人の輪と笑顔です。

インクルーシブスポーツキャラバン

あらゆる人を排除せず社会の一員として包み込む意味を持つ「インクルーシブ」のもと、障がいの有無や程度に関わらず楽しめるレクリエーションを企画しています。2021年6月から県内各地で定期的に開催し、のべ550人以上の親子などが参加。障がい者サポーターズGolazo!(知的障がい児保護者による支援団体)、Sendai Forza(知的障がい者サッカーチーム)、(株)ベガルタ仙台、尚絅学院大学、開催地域の自治体などが協働し開催しています。



▲ ビブスの端と端を持ちながら行う鬼ごっこやサッカー



▲ 尚絅学院大学 HP



活動の幅を広げるお役立ち情報「活動に+（プラス）」

「JomoNeX」を活用して、まちの課題を人とつながり解決していこう

ジモネックス

「JomoNeX」は、地域課題を人と人とのつながりで解決するWebサイトです。すでに地域で活動している人や、これから活動したい人、地域貢献を考えている企業などがサイト内で会話や応援を通じてつながりを深め、ともに地域活動を進めていくことができます。

利用のしかたはまず「スターター」と「ジャンパー」のどちらかに登録します。登録・利用ともに無料です。

●地域に根差した活動をしている人や団体「スターター」

取り組んでいる活動内容やプロジェクト、イベント告知、お手伝い募集などを投稿できます。投稿を積み重ねていけば、活動の記録にもなります。同じ活動をしている人と意見交換もできます。

●これから地域のために活動していきたい人「ジャンパー」

投稿を見て、応援したい人や取り組みに「いいね」やコメントを送ることができ、イベントやお手伝い募集に参加するなど、はじめの一步を気軽に踏み出せます。後でスターターに変更することもできます。

JomoNeXを運営するのは、株式会社プロトソリューション仙台本社です。



▲ オンラインでスターターとミーティングする運営メンバー

運営がスターターにインタビューして代わりに投稿記事を書くなど、文章を書くのが苦手な人やITに慣れていない人でも発信できるようにサポートしています。「活動の目的は?」など、運営に質問されることで、活動をうまく言い表せるようになり、「だんだんと自分で記事を書くスターターが増えていきました」と話す担当の大石桃菜さん。



▲ 開発・運営に携わるのは、20代の若手社員

JomoNeXのリリース前、地域活動団体を調べていた時に、ホームページがなかったりSNSでしか発信していなかったりと情報不足で団体の活動や目的がよく分からず「もったいない」と思った経験が、手厚いサポートにつながっています。

大石さんは「東北で地域活動をする人の思いや取り組みを多くの人に知ってもらいたい。そして、地域に関心を持つ人とつながる場としてJomoNeXをどんどん使ってほしい」と話します。

JomoNeX

IT企業である株式会社プロトソリューション仙台本社の社会貢献事業です。2021年8月にリリースしました。



▲ JomoNeXサイト



▲ Facebook



▲ Twitter



活動現場から、「このたびカタチになりました」

まち歩きマップ「みんなで歩こう 宮城野原」

宮城野原の名所、旧跡を案内し、地域の魅力を発信するガイドボランティアグループ宮城野原案内人の会が、おすすめのコースを紹介するまち歩きマップ「みんなで歩こう 宮城野原」を作成しました。宮城野原の地名の由来は、仙台市東部にあった原野「宮城野」で、古代から歌枕として和歌に詠まれてきました。マップを手に、宮城野原のお散歩はいかがでしょう。



A3版 カラー刷り
1部200円
購入は下記TELまで連絡

宮城野原案内人の会

TEL 080-1691-5241 (山田)

ブログ ▶



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 6月8日(水)、22日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者: 特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2022年6月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

